

大垣市民病院へ 車いすなど寄贈

大垣西濃信金
オイダ製作所

大垣西濃信用金庫は、金属加工業のオイダ製作所(大垣市草道島町)が発行した地域貢献型私募債「絆」を活用し、同市南頰町の市民病院に長いすや本棚、クリスマスツリーなどキッズスペース用の備品、さらに車いす13台を贈った。

企業の私募債発行により同金庫が受け取る手数料の一部で、企業が指定する団



川合秀明事務局長(左から2人目)に目録を手渡した種田伸一朗社長(同3人目)と倉橋慎一郎(同4人目)＝大垣市南頰町、市民病院

体や学校に物品を寄贈する取り組み。

贈呈式が同病院であり、種田伸一朗社長が同金庫本店営業部の倉橋慎一郎長と共に同病院の川合秀明事務局長に目録を手渡した。種田社長は「特に子どもたちにとって入院生活は退屈になりがち。キッズスペースの充実に役立ててほしい」と話し、川合事務局長は「寄贈品を大切に使いながら、今後も患者中心の医療を提供していきたい」と感謝した。

(古家政徳)